

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月30日

計画の名称	取手市安全安心で快適な都市公園の整備・保全計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	取手市												
計画の目標	市内には、取手市管理の都市公園が155公園存している。それら公園施設の維持管理については、地元自治会等と協議の場を設けるなど、地元ニーズを反映し、利用者が望む公園施設の提供に取り組んでいる。しかしながら、それら公園施設は開園後相当年数が経過し、経年による施設の劣化が進行しており改築や更新が必要となっている。今後とも地域の公園が来園者にやすらぎを提供する快適な空間としての役割を維持し、地域全体としての価値向上に資する施設となることを目的として施設の整備保全を行い、安全安心で快適な公園利用環境の改築を図るものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	254	A	254	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	取手市公園施設長寿命化計画に基づき、重点的かつ効率的に公園施設の改築・更新を行い、安全対策の強化並びに既存ストックの長寿命化を図る。 公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加 277基 改築・更新済み施設数 ÷ 改築・更新予定施設数（277基） × 100	0%	52%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
公園施設長寿命化計画														

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	取手市	直接	取手市	—	—	取手市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策（取手緑地運動公園他109箇所における公園施設の改築・更新）	取手市	■	■	■	■	■	243		策定済		
	A12-002	公園	一般	取手市	直接	取手市	—	—	取手市都市公園安全・安心対策事業（5か年老朽）	長寿命化対策（新取手ヒマラヤ杉公園他8箇所における公園施設の改築・更新）	取手市			■			11		策定済		
											小計							254			
											合計								254		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
配分額 (a)	11	24	30	0	30
計画別流用増△減額 (b)	3	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	14	24	30	0	30
前年度からの繰越額 (d)	0	3	15	17	0
支払済額 (e)	11	12	28	17	30
翌年度繰越額 (f)	3	15	17	0	0
うち未契約繰越額(g)	3	15	17	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	21.42	55.55	37.77	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	公園利用者との調整に不足に日数を要したため	公園利用者との調整に不足に日数を要したため	公園利用者との調整に不足に日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 取手市安全安心で快適な都市公園の整備・保全計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明性瞭	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元住民の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発言の確実性）	○